

Tranzax

でんさいネットと接続協議

Tranzax（東京都、小倉隆志社長）は、電子記録債権の活用で早期の資金調達を可能にする「PO（パーチェイス・オーダー）ファ

イナンス」の運用開始に向け、全銀電子債権ネットワーク（でんさいネット）との接続協議を開始した。POファイナンスは、

電子記録債権の活用により、従来は困難だった受注時点での債権担保融資を可能にする仕組み。中小建設業がこの仕組みを活用すると、公共工事の前払金のように、民間工事でも工事代金債権を担保として工事着手金を調達できるようになる。

でんさいネットとの接続協議は、電子記録債権法に基づき、電子記録債権を移動させるためのもので、利用者の利便性向上を目的に実施する。同社は既に6月にこのスキームの特許を取得しており、金融庁からの認可を待ってPOファイナンスのサービス提供を開始する。